

1 施策の位置付け

政策の柱	II 市民の学ぶ意欲と豊かなところを育むために	政策名 (基本施策名)	8 生涯にわたる学習活動を促進する	政策の達成目標 (基本施策目標)	子どもから大人まで、市民の誰もが自分に合った学習の機会や場を得られるとともに、意欲を持って地域のための活動に取り組んでいます。
------	-------------------------	----------------	-------------------	---------------------	---

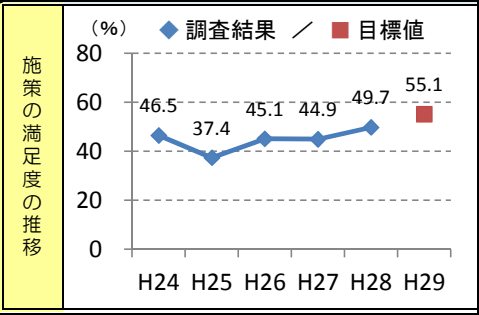
2 施策の取組状況

施策目標	一人ひとりが、自分にあった学びの機会や場を得て、いきいきと学んでいます。
------	--------------------------------------

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価
	指標1	全生涯学習センターで開催される講座の延べ参加者数	単年度目標値	23,763	23,994	24,125	24,306	24,487			24,670	B	指標3	施策の満足度(%)	調査結果	46.5%	37.4%	45.1%	
現状値			23,582人	実績値	21,747	22,098	22,372	21,190	20,167	前年度からの増減	-9.1pt				7.7pt	-0.2pt	4.8pt		
目標値(H29)			24,670人	単年度の達成度	91.5%	92.1%	92.7%	87.2%	82.4%										
指標2	図書館資料の貸出冊数(千点)	単年度目標値	—	4,335	4,508	4,688	4,875	5,070	B	【参考】中核市等との水準比較	全生涯学習センター及び地域コミュニティセンターの利用者数/市民1人	中核市平均	2.19	2.03	2.02	1.99	2.05	B	
		現状値	4,075点	実績値	4,169	4,027	3,932	3,935				3,849	実績値	2.10	2.12	1.97	2.04		2.01
		目標値(H29)	5,070点	単年度の達成度	92.9%	87.2%	83.9%	79.0%				中核市での本市の順位	20位/41市中	18位/41市中	22位/42市中	19位/43市中	24位/45市中		
指標3	単年度の達成度	単年度目標値										中核市平均							
		現状値										実績値							
		目標値(H29)										中核市での本市の順位							

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 増進型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 減退型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (±5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (±5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり (主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調:(A評価が2つ以上(C評価がある場合を除く。)) [90点以上]	概ね順調:(主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている:(C評価が2つ以上) [65点未満]

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策を取り巻く環境等	・国の第2期教育振興基本計画において、多様化が一層進む社会の中で、個々人が自立し、他者と連携・協働しながら、生涯にわたって生き抜く力や地域の課題解決を主体的に担う力を身に付ける必要があるとしている。 ・平成29年3月の中央教育審議会における「第3期教育振興基本計画の策定に向けた基本的な考え方」では、教育の目指すべき姿に向けて、「【個人】自立して主体的に社会に関わり、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造する人材の育成」や「【社会】全ての人が持つ可能性を開花させることで一人一人が活躍し、豊かで安心して暮らせる社会の実現」を進めていく必要があるとしている。	市民満足度	市民の生涯学習ニーズや早急に取り組むべき課題である「社会の要請」に対応した学習など、多様な学習機会を提供してきたことにより、市民満足度は前年度より上昇した。	総合評価	75点
施策指標	・全生涯学習センターで開催される講座の延べ参加者数については、文化・教養的な講座から、地域の課題解決や社会的課題に対応する講座を重点化しているところであり、昨年度より多くの講座を開催してきたが、参加者数は微減した。 ・図書館資料の貸出冊数については、小中学高校生への継続的な読書活動の推進や児童コーナー、ヤングアダルトコーナーの充実など、市民ニーズに応じた取組みを積極的に行ってきたが、貸出冊数は微減した。				概ね順調

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象, ★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(5事業選択)

No.	事業名	戦略P・ 主要事業 ※	事業の目的	事業内容		事業の 進捗状況	H28 事業費 (千円)	開始年度	日本一 施策 事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	人財かがやき支援事業		市民活動団体等の活動活性化	生涯学習にかかわる 又は関心のある市民	地域教育メッセの開催	計画どおり	42	H20		地域教育メッセにおいて、出展団体や市民が活動紹介や情報交換などの交流を通して、今後の活動の活性化や機会づくりにつながる場を提供する。引き続き「うつのみや人づくりフォーラム」と一体的に開催し、より多くの市民の生涯学習支援に寄与することができるよう、事業の更なる充実を図っていく。
2	あすなろ青年教室事業交付金		市内の中学校特別支援学級等の卒業生を対象とした学習機会の充実	あすなろ青年教室実施委員会	事業の経費に対する補助金の交付	計画どおり	482	H16		青少年教育として30歳以下の中学校特別支援学級等の卒業生を対象にした「あすなろ青年教室」と、成人教育として30歳を超えるあすなろ青年教室の修了生を対象とした「ひのきクラブ」において、実生活に必要な職業、家事、余暇の活用等に関する知識、技術を習得する場の充実を図っていく。
3	人材かがやきセンター事業	★	育成事業や調査研究、学習プログラムの開発・提供の充実	全市民	各種講座の開催、関係職員等研修の実施、学習相談の実施等	計画どおり	1,068	H22		地域教育の効果的な推進を図るため、市民やボランティアなどの多くが、学び、集い、情報交換や仲間づくりができる人づくりの拠点とする「人材かがやきセンター」において、引き続き、学校・家庭・地域など活動する場所や活動レベルに合わせた育成事業を実施するほか、社会的な課題に対応する先駆的・モデル的な講座も実施する。
4	市民大学運営協議会交付金		市民の知的好奇心を満たし、生活に潤いや生きがいを与える学習機会の充実	市民大学運営協議会	事業の経費に対する補助金の交付	計画どおり	2,014	H5		「生涯学習センター主催講座」や「人材かがやきセンター主催講座」との差別化を図り、引き続き高等教育機関との連携により高度で専門的な内容で講座を実施するとともに、多様化する市民ニーズに対応するため、現代的課題や旬の話題を積極的に取り入れるなど、本市の生涯学習事業で唯一の有料講座として、市民の知的好奇心を満たし、生きがいや精神的な豊かさなど市民生活に潤いを与える教養講座や地域の文化・歴史講座などの学習機会を提供する。
5	成人対象事業	★	市民の主体的な学習活動の支援と個人の自立に向けた学習の促進	概ね18歳以上の市民	各種教養講座、高齢者教室などの開催	計画どおり	2,766	S24		社会情勢の変容や多様な市民ニーズに対応した魅力ある講座を実施するとともに、地域資源や地域の魅力を再認識し、郷土愛や市民意識を高めるような講座の実施や、市民が企画・運営する講座の更なる推進に取り組んでいく。また、講座の実施にあたっては、実施日時の工夫など、地域教育を支える大人の学習機会として、より多くの市民が受講できるよう努めていく。
6	子ども情報センター事業		子どもの自主的な体験活動を促進するための情報提供	主に、市内に住む小中学生	うつのみや子ども情報センター窓口・情報誌・ホームページによる情報提供	計画どおり	93	H13		子どもの生きる力の向上に向けた、自主的な体験活動を促進するために効果的な事業であり、庁内外の情報提供側のニーズも高く、より効果的な情報提供に努め、対象者の求める情報をバランスよく提供していく。
7	視聴覚ライブラリー運営事業		学校や社会教育施設等に対して、視聴覚機材、教材等の貸出しや講座、映画会の開催を通して視聴覚に関する学習機会を提供し、視聴覚教育の振興を図ることを目的とする。	学校・社会教育団体及び市民	映画会・パソコン講座の開催 視聴覚機器の操作研修 視聴覚機材・教材・施設の貸出 団体の事業・制作支援	計画どおり	897	S56	トップクラス	社会教育団体等からの視聴覚教材・機材の貸出及び施設利用のニーズは、高い状況であり、今後とも、視聴覚機材・教材及び施設の適正な管理に努めるとともに、既存事業の充実を図りながら、きめ細かな学習情報の提供と利用者ニーズの多様化、高度化に対応した事業の実施に努めていく。
8	生涯学習センター文化祭負担金		市民の文化活動を通じた交流促進	中央・東・西・南・北生涯学習センター利用団体が開催する文化祭	中央・東・西・南・北生涯学習センター文化祭実行委員会の負担金の交付	計画どおり	548	S42		文化活動や活動の成果の発表を通して、地域住民の交流促進や生涯学習の推進を図っていく。また、一般観覧者や、幅広い年代の参加者を増やす方法について検討する。
9	図書館情報システムの整備		円滑な図書館サービスの提供と利用者サービスの向上	図書館情報システム利用者	図書館資料の検索や予約、貸出などの図書館コンピューターシステムの整備	計画どおり	67,651	H15		現行システムの円滑な稼働とトラブルへの迅速な対応に努める。また、図書館情報システムについて、デジタルアーカイブやスマートホン対応などの新たな機能を含め、システム更新に向けた準備を進める。
10	市立図書館館外奉仕課貸出		地域住民への情報提供や、市民の読書活動支援を目的とする。	・市内に居住又は通勤通学している人 ・学校・幼稚園・保育園・地域文庫・子どもの家・老人ホームなど、 図書を団体活動に活用する市内の団体	・センター図書室等の利用者への貸出 ・図書を団体活動に活用する市内の団体への貸出	計画どおり	6,295	S56		生涯学習センター図書室等については、地域性や利用者ニーズに沿った資料を選定し充実を図る。また一般書を中心に入替え作業を計画的に推進し、利用促進を図っていく。
11	市図書館と学校図書館のネットワークの整備		小中学生の読書活動、学習活動の支援及び教職員の教育活動の充実	児童生徒及び教職員	市内の小中学校に対し図書の巡回貸出、学校図書館司書への研修の実施	計画どおり	11,772	H18	独自性 トップクラス	図書館と学校図書館との連携による児童生徒の読書活動・学習活動を支援する。
12	図書館障がい者サービス		図書館来館に困難な市民に対する読書の機会の提供	市内に居住または通勤通学している障がい者。特に活字の変換サービスが不可欠な視覚障がい者。身体障害者、要支援・要介護認定者	・図書館に来館できない障がい者に対する、送料図書館負担による郵送貸出 ・視覚障がい者に対する、点訳・音訳図書の作成・貸出及び郵送貸出 ・点訳・音訳作業を行う奉仕員研修の実施	計画どおり	2,468	S57		現在利用されていない登録者に対し、提供している障がい者サービスの内容をまとめ周知することにより利用促進を図る。音訳資料のデジタル化や情報ネットワークの活用による資料提供などの面の充実を図る必要があるため、点訳・音訳奉仕員の養成や研修を、関連機関と連携して実施する。
13	親子読書促進事業(宮っ子ふれあいブック)		家庭での読書活動のきっかけづくり	市内に居住する1歳6か月児健康診査対象者及びその保護者	1歳6か月児健康診査会場における宮っ子バック(図書館利用案内、子育て支援パンフレット等)の配付及び読み聞かせの実施	計画どおり	495	H15		健診の待ち時間の減少により、読み聞かせの働きかけが困難となってきた現状を踏まえ、親子読書促進事業内容について関係課と協議を図りながら、その方向性を検討する。

14	図書館整備事業		図書館の読書環境の整備	図書館利用者	図書館の機能保持及び安全確保のための整備	計画どおり	93,296	H13		施設設備の計画的な更新により、読書環境の整備に努める。平成29年度は、老朽化した中央図書館給水設備改修工事を実施し、図書館利用者に快適なサービスを提供する。
15	図書館館内資料の収集提供	★	市民ニーズに対応した読書活動の推進	市内に居住又は通勤通学している人及び宇都宮市図書館の利用者	図書収集、整理、貸出、調査相談等の事業	計画どおり	118,586	S56		課題解決に役立つ情報拠点として、各館の特性や市民ニーズを考慮した資料の充実を図る。超高齢化社会への対応など、市民それぞれのライフステージに応じた読書活動を行えるよう、読書環境の充実と利用促進に努める。職員の資質向上と専門機関との連携を進め、情報提供力の強化を図り、市民ニーズの多様化・高度化に対応していく。
16	図書館読書推進事業	★	講座やイベントを通じた、読書に親しむ機会の提供	市内に居住又は通勤通学している人及び宇都宮市図書館の利用者	講演会、講座、おはなし会など、図書館資料と関わりのある催しの実施	計画どおり	1,148	S56		市民の図書館に対するニーズは年々多様化しており、生涯学習の情報拠点として、様々な学習機会を提供するなど、施策目標への貢献度は高い。今後は多様化・高度化する利用者の要求に対応できるように、高齢者を対象とした音読教室や様々な利用対象を想定した講座等の充実を図り、更なるサービスの向上に努めるとともに、全市的なイベントでの読書活動啓発事業を実施していく。
17	青少年対象事業	○★	体験活動等を通じた青少年の規範意識や道徳心の醸成	市内小中学生、高校生及び市内に住んでいるか勤めている18歳から30歳までの市民	少年教室、中・高校生地域活動講座、青年教室などの講座の開催	計画どおり	716	S24		体験活動等を通じた、道徳心や規範意識等の醸成を図る講座を実施するとともに、より多くの青少年が参加できるよう、各種団体と連携した事業の実施など、多様化する青少年のライフスタイルや学習ニーズに対応した講座を実施する。
18	講座企画・運営ボランティアスタッフ(Vスタッフ)養成事業	○	生涯学習の推進役となる人材の養成	生涯学習講座の企画運営に関心のある市民	Vスタッフの養成	計画どおり	56	H13		市民目線による講座の企画・運営を通じた生涯学習を推進するため、引き続きVスタッフの養成を行うとともに、講座修了後も継続した育成支援に取り組むため、フォローアップ研修会の開催や、生涯学習センターにおける活動機会の拡充を図るなど、Vスタッフの円滑な活動に向けた支援に取り組む。
19	成人式の開催	○	新成人に対する「地域社会の一員としての自覚」や「地域の育てられたことへの感謝の気持ち」の醸成	新成人	成人式の開催	計画どおり	723	H13		新成人に対する成人教育のひとつとして、効果的・効率的な内容や運営手法などを引き続き検討するとともに、地域住民・新成人で構成する実施委員会において地域と新成人が連携を図り、円滑な成人式の運営ができるよう支援していく。
20	成人式実施委員会交付金	○	新成人に対する「地域社会の一員としての自覚」や「地域の育てられたことへの感謝の気持ち」の醸成	各成人式実施委員会	各実施委員会に対する交付金の交付	計画どおり	18,828	S23		新成人に対する成人教育のひとつとして、地域住民・新成人で構成する実施委員会による成人式の運営を引き続き実施するとともに、地域性を活かした新たな事業の実施や、より多くの新成人が企画運営に参画できる仕組みづくり、今後の成人式のあり方などについて検討する。
21	人づくり推進事業	○	社会総ぐるみによる人づくりの推進	全市民	①人づくり「合言葉」の周知啓発 ②人づくりフォーラムの開催 ③教育委員会だよりの発行	計画どおり	3,722	H18		人づくりの活動の中心である大人に対し、子どもの手本となる行動の実践を促すため大人の模範的な行動目標策定に向けた検討を行う。平成29年度は「うつのみや人づくりフォーラム」開催10周年の節目となるため、ふさわしいフォーラム内容となるよう関係団体等へ働きかけるとともに、活動主体間の連携強化を意識した取組により、市民一人ひとりの人づくりへの参加意欲を高め、家庭や地域、学校、企業、行政が一体となった人づくりを推進していく。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
課題	<p>◆生涯学習センターで開催される講座については、多様な市民ニーズに対応し、魅力ある講座内容を実施していくとともに、各種団体との連携や実施日時の工夫など、より多くの市民の受講を促すような学習機会の提供が必要である。</p> <p>◆図書館資料については、多様化・高度化する市民ニーズに対応するとともに、情報拠点としての情報提供力の強化や読書活動を啓発する事業の推進など、資料の充実と利用促進を図る必要がある。</p> <p>◆講座企画・運営ボランティアスタッフ(Vスタッフ)養成事業については、養成講座修了後もVスタッフが円滑に活動できるよう、講座を企画・運営する機会を拡充していく必要がある。</p> <p>◆人づくり推進事業については、家庭や地域、学校、企業、行政が連携協力し、人間力の高い、心豊かでたくましい宮っ子を育成するため、社会総ぐるみでの人づくりの機運を醸成する必要がある。</p>
方向性	<p>〈施策全般〉 ◆引き続き、市民一人ひとりが自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、多様な学習機会を提供するとともに、社会の要請に対応した学習機会の充実など、学びを通じた「人づくり」に繋がる事業を推進していく。</p> <p>〈主要事業〉 ◆青少年を対象とした講座については、体験活動等を通して規範意識等を醸成する講座を実施しており、多様化する青少年のライフスタイルや学習ニーズに応じて講座の開催時期や内容を工夫することで、より多くの参加を促すように引き続き進めていく。</p> <p>◆講座企画・運営ボランティアスタッフ(Vスタッフ)養成事業については、Vスタッフの養成と合わせて、修了者へのフォローアップ研修会や生涯学習センターにおける活動機会の拡充など、円滑な活動に向けた支援を進めていく。</p> <p>◆成人式の実施については、より多くの新成人が企画運営に参画し、地域と連携して地域の特色ある事業を実施できる仕組みづくりをしていくとともに、安定的な運営のための会場確保などの検討を進めていく。</p> <p>◆人づくり推進事業については、大人の模範的な行動目標策定に向けた検討を行うとともに、10周年の節目を迎える「うつのみや人づくりフォーラム」の開催など、活動主体間の連携強化を意識した取組を進めていく。</p> <p>〈その他個別事業〉</p>